



## 浜松医科大学小児科学雑誌の第2巻発刊によせて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学小児科学雑誌編集部 公開日: 2022-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮入, 烈 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00004064">http://hdl.handle.net/10271/00004064</a>

## 浜松医科大学小児科学雑誌の第2巻発刊によせて

私たち医師は目の前の患者に良質な医療を提供するだけではなく、未来の患者がより良い医療を受けられるように医学を発展させる責務を負っています。新しい知見が次の患者に活かされるためには、まずは学術論文として正確な記述を残すことが必要です。そのためには、過去の知見をまとめ、臨床的な疑問点を明らかにして、科学的に正しい手法で回答を得て、その限界も含めて解説するという作業が必要です。また、執筆にあたっての様々な作法も身につけなければなりません。初めて論文を執筆した若手の先生は、このプロセスを通じた大きな成長があったと思います。ご指導いただいた先生方が費やした労力は多大なるものであると察しますが、後進を育てる充実感には代えがたいものがあると思います。この作業を積み重ね、physician scientist としての高みを目指して行ってほしいと思います。

今回も多くの投稿をいただき、原著論文9編の掲載に至った充実した内容を大変嬉しく思います。査読を担当いただいた先生方の的確なコメントは浜松医科大学小児科の層の厚さを感じさせるものでありました。また、この雑誌の発刊に当たっては、飯嶋重雄先生の多大な貢献がありましたことを付記したいと思います。雑誌の編集には、投稿の受付から、査読の依頼や著者とのやりとり、掲載にあたっての体裁の確認や質の担保など膨大な労力を要しますが、編集委員長としてご尽力いただいたことに感謝申し上げます。

本誌の発刊は、浜松医科大学小児科としての総合的なエフォートであり、当講座を更に発展させる活力になっているものと確信しております。これからも宜しく願い申し上げます。

宮入 烈